Miele

取扱説明書



IH クッカー（4 口）

KM 5722



事故や製品の破損を防ぐために、本製品の設置時や、初めて使用される前に、以下の取扱説明を必ずお読みください。

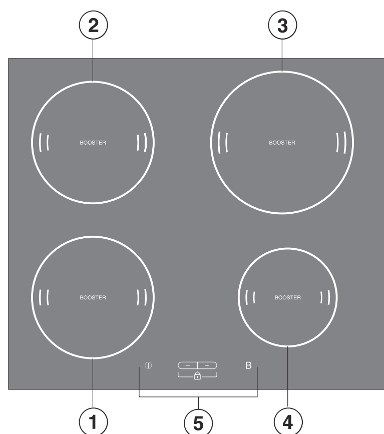
M.-Nr. 06 662 130

目次

目次

各部の名称

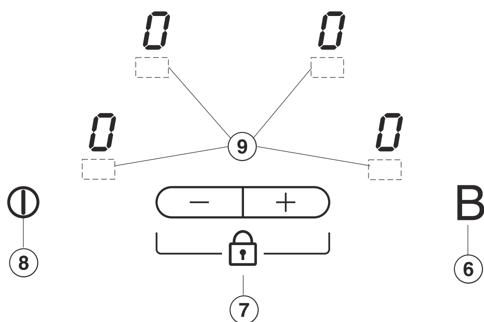
IH クッカー本体



①②③④ 調理ゾーン

⑤ 操作パネル

操作パネル



センサースイッチ:

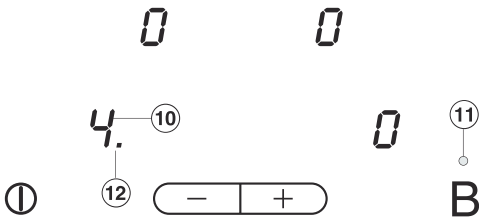
⑥ ブースター

⑦ 火力調節 / チャイルドロック

⑧ 本体の電源 ON/OFF スイッチ

⑨ 調理ゾーン ON/OFF スイッチ

調理ゾーンの表示



⑩ 次の内容が表示されます。

0	=	調理ゾーン使用可能
1 ～ 9	=	火力調節（本体の電源が入っている場合）
≡	=	余熱表示
u	=	調理ゾーンになべがない。またはなべが不適切 (P.17「なべ」を参照)
P	=	ブースター
P0 etc.	=	プログラム (P.28「プログラミング」を参照)
S0 etc.	=	ステータス (P.28「プログラミング」を参照)

⑪ ブースターの表示ランプ

⑫ 自動加熱または拡張火力調節の表示ランプ (P.28「プログラミング」を参照)、
例: 左手前の調理ゾーンなど

調理ゾーン

調理ゾーン	直径範囲 ∅ (cm) *	消費電力 (kw) **	
	14 – 20	通常 : ブースター作動時 :	1.50 2.10
	14 – 20	通常 : ブースター作動時 :	1.50 2.10
	16 – 23	通常 : ブースター作動時 :	1.90 2.70
	10 – 16	通常 : ブースター作動時 :	1.10 1.50
		合計 :	6.00

*　指定の範囲内の直径のなべならどれでも使用することができます。

**　記載されているキロワット数は、使用するなべの大きさや材質によって異なります。

安全上のご注意

⚠ 警　告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため色々な絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 一般的に重要な注意事項
- 潜在的な危険・警告・注意
- 感電注意
- 機器に損害を与える可能性のある場合
- 発火注意
- 高温注意
- 禁止行為
- 分解禁止
- 電源プラグに関する注意
- 水場、湿気の多い場所での使用禁止

⚠ 警　告

本製品は、関連するすべての法律上の安全要件を満たしています。ただし、本製品を不適切に使用した場合、人体への危害および物的損害をもたらすことがあります。

事故や製品の破損を防ぐために、本機を初めてお使いになる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。本書には、本機を正しく安全にお使いいただくための注意事項と、実際のご使用やお手入れに関する重要な情報が記載されています。

本書は大切に保管し、本機を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。

取り付けと接続

本機を設置する前に、損傷がないかチェックしてください。損傷の見られるIHクッカーは設置、使用しないでください。誤った設置や接続による損傷については製造者責任を負いません。

必ずアースを取り付けてください。
故障や漏電の時に感電する恐れがあります。（電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。）

電気工事はすべて電気工事設備基準に準じて行ってください。

警　告

本機は現行の安全基準に準じて製造されています。修理技術者以外の方による修理、改造、分解は行わないでください。これによるいかなる損害も製造業者は責任を負いません。修理が必要な場合は販売店またはミーレ指定サービス店にご連絡ください。

浴室や風雨にさらされる場所など湿気の多い場所には設置しないでください。（感電・火災・故障・変型の恐れがあります。）

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、また濡れた手で抜き差ししないでください。（感電やけがをすることがあります。）

お手入れの際などに、本体各部に水をかけないでください。

本製品を、延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。過熱、発火、感電などの恐れがあります。

本機はビルトイン専用です。キッチンへの据付、結線は専門技術者以外は絶対に行わないでください。
火災や感電、ケガの恐れがあります。

本機はビルトイン式の食器洗い機、食器乾燥機、冷蔵庫、冷凍庫、冷凍冷蔵庫などの上に設置することはできません。本機から放出される高温によって、下の機器および本機の換気システムに損傷を与える場合があります。

警　告

本機は、船舶での使用、およびトレーラーハウスや航空機などの移動性の環境での使用を考慮して設計されたものではありません。ただし、適切な資格を持つ専門技師による危険性評価で問題なしと判断された場合は、このような環境で使用しても差し支えない場合があります。

正しくお使いいただくために

初めて使用する前には必ずこの説明書をお読みいただき、事故の危険性をさけ、本体を傷つけないようにしてください。この説明書には、安全、操作および本機のお手入れに関する重要なご注意が記載されています。

安全のために本機は必ず据付後に操作してください。これは、すべての電気構成部品を保護するために必要です。

本機は家庭用です。業務用としての使用はできません。

本機は、調理にのみ使用してください。その他のすべての用途は危険をもたらす可能性があり、所有者の責任になります。本機の誤った使い方による損傷については、製造者責任は負いません。

使用中は十分な換気をしてください。

本機は、屋外に設置したり、屋外で使用したりしないでください。

安全上のご注意

 警　告

お子様に対するご注意


本製品は、大人だけがこの取扱説明書を読んだ上で操作することを前提としています。


本製品は玩具ではありません。ケガや事故を起こさないように、お子様が本機に近づかないようにし、IH クッカーやそのスイッチ類をさわらないようにしてください。小さなお子様は、機械の危険性を理解していません。キッチンで作業をする場合は、お子様から目を絶対に離さないでください。



大きいお子様の場合は、操作方法を明確に説明し、誤った使用の危険を認識して、安全に使用できる場合に限り、本機を使用できます。


お年寄りや介護を要する方が使用する場合は、他の方が十分に注意してください。


お子様がIHクッカーを操作したり、設定を変えたりしないように、チャイルドロックを使用してください。



IHクッカーは、使用中高温になり、電源を切った後もしばらく熱くなっています。やけどなどを防止するため、IHクッカーの温度が十分下がるまで、お子様を近づけないようにしてください。

 警　告



セラミックプレートの上側や隣りの収納棚にはお子様の興味をひくようなものを置かないでください。 上がろうとして、やけどする恐れがあります。




なべなどはお子様の手が届かないようにしてください。 取っ手は手前に向けないで、内側にしてください。やけどする恐れがあります。


密閉フィルム、ポリスチレンなどの梱包材やビニールシートは、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。梱包材は、できるだけ早急に廃棄するか、リサイクルしてください。


使用済みの器具は電源から外し、プラグは切り離して使えないようにしてください。さらに、後壁の根元で電源コードを切断し、廃棄するまでの保管中、お子様への危険がないようにご注意ください。
この作業は必ず有資格者が行ってください。

⚠ 警　告

本体を傷めないために




上からものを落とさないでください。塩入れなどの軽いものでも状況により損傷することがあります。


底に鋭い角や凹凸のあるケトルやなべなどは使用しないでください。セラミックプレートの表面がこすれて傷が付くことがあります。塩や砂粒でも傷つくことがあります。


熱くなったセラミックプレートに、固体または液体の砂糖、プラスチック片やアルミ箔を置かないでください。万一置いてしまった場合は、電源を切り、やけどに注意しながら、プレートが熱いうちに残っている砂糖やプラスチック、アルミを傷のつかないスクレーパで丹念にこすり落としてください。これらが溶けてそのまま冷えると、セラミックプレートに穴が空いたり、ひびが入ることもあります。本体が冷めたら、クリーニングしてください。こぼしたものなどが燃えるのを防ぐために、汚れはできるだけ早く取り除き、なべの底はきれいに乾いた状態で油などが残っていないようにしてください。




本機の清掃にスチームクリーナーを使用しないでください。蒸気が電気部品に入り、ショートの原因になる恐れがあります。高圧蒸気で表面や部品を損傷することがあります。このような損傷は、保証対象外となります。

⚠ 警　告




熱くなった鍋を操作部の近くに置かないでください。電子部品が損傷する恐れがあります。


IH クッカーの真下に引き出しが付いている場合は、IHクッカーの換気が十分に行われるように、引き出しや中身とIHクッカーの下部の間に十分な空間があることを確認してください。


ゴキブリやその他の害虫が発生しやすい地域のある国では、本機とその周辺を清潔な状態に保つように特に注意が必要です。ゴキブリやその他の害虫による損傷は、本機の保証対象外となります。

安全上のご注意

 警　告

やけどや火災をおこさないために



IHクッカーの表面は、使用中高温になり、スイッチを切った後もしばらく高温状態が続きます。余熱表示ランプが消えるまで触らないでください。やけどする恐れがあります。



やけどしないよう、本機の使用時は、耐熱性のなべつかみやミトンを使用してください。ただし、なべつかみやミトンを濡らさないように注意してください。濡れていると熱が早く伝わり、やけどする恐れがあります。



内圧が高まり、破裂することがあるため、缶詰などを密閉したままで加熱しないでください。
負傷したりやけどしたりすることがあります。



本機を物の置き場所に使用しないでください。余熱が残っていたり、意図せずに電源が入ったりすると、上に置かれたものが溶けたり、発火する恐れがあります。



金属製のフォーク、ナイフ、スプーン及びフタ等をセラミックプレート上に載せないでください。熱伝導で熱くなり、やけどの恐れがあります。

 警　告



本機を布やアルミ箔などで覆わないでください。意図せずに電源が入ったりすると、発火する恐れがあります。



油を使って調理する場合は、過熱によって発火する恐れがありますので、絶対にそばを離れないでください。熱くなった油に火がついたり、IH クッカー上のレンジフードに引火する恐れがあります。
油は状態を見ながらゆっくりと加熱してください。



万が一、油や脂肪分が引火した場合には、水で消火しないでください。防火用毛布や、なべのフタ、濡れタオルなどで覆って消火してください。



レンジフードの下では、フランベ（酒をかけて火をつける調理法）をしないでください。IH クッカー上のレンジフードに引火する場合があります。

 **使用後は必ず電源を切ってください。**

 警　告

故障のとき






セラミックプレートが割れたり、傷やひびが入ったりした場合には、ただちにスイッチを切り、電源を外してください。点検修理を依頼して、損傷したセラミックプレートを交換するまでは、再び電源を入れて使用することのないようにしてください。感電する恐れがあります。本体が完全に設置されていない場合は、電源コードはコンセントから抜いたままにしておいてください。電源プラグとソケットで接続されている場合は、ソケットの電源を切って、電源プラグを抜いてください。ケーブルではなく、電源プラグの部分を持って、引っ張ってください。「ご相談窓口」までお問い合わせください。煮こぼれしたものがひび割れから電気部品に浸透することがありますからそのまま使用することは危険です。

 警　告







安全を確保するため、すべての修理は有資格者が行う必要があります。無資格者による修理は大変危険です。
また、IH クッカーが損傷する恐れがあります。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。決して外部ケースを開けないでください。

保証期間中の修理は、ミーレ認定サービスマンによって行われなければなりません。ミーレ認定サービスマン以外による修理は保証対象外となります。

電磁場の影響について




心臓用ペースメーカーをお使いの方へ！
IHクッカーの近くは電磁性を帯びるため、ペースメーカーに影響を与える可能性があります。ご不明な点がある場合は、ペースメーカーの製造業者または担当医師にご相談の上ご使用ください。



不必要に電磁場にさらされるのを防ぐため、調理ゾーンの中央になべを置くようにしてください。




クレジットカードやフロッピーディスク、小型計算機など磁界の影響を受けやすいものの損傷を防ぐため、これらのものをIHクッカーの近くに置かないでください。

安全上のご注意

 警　告

その他の安全に関する注意事項




本機近くのコンセントを使用するときは、熱くなった本体に電気コードが触れないように注意してください。コードの絶縁物が損傷し、感電する恐れがあります。



調理したり温め直したりする場合は、食品を十分に加熱してください。
全体的な調理時間は、食品の大きさ、量、温度など、多くの要因に影響されます。
食品の中には、高温で十分に加熱しなければ死滅しない細菌が含まれているものもあります。そのため、鶏肉などの食品を調理したり温め直したりする場合は、食品に完全に熱を通すことが非常に重要です。疑わしい場合は、調理または加熱時間を長くするか、食品を廃棄してください。




プラスチックやアルミ箔の容器を使用しないでください。高温で溶けてセラミック表面を損傷することがあります。発火する恐れがあります。




決して外部ケースを開けないでください。電気接続や構成部品、機械部品にみだりに触ることは非常に危険であり、操作エラーの原因となる場合があります。


ガラス製の縁のある本機では、設置後、最初の数日間は本体とワークトップの間に小さな隙間が見える場合があります。この隙間は本機を使用していくにつれて小さくなり、本機の電気的安全性には影響しません。

 警　告



IH クッカーの下に引き出しを取り付ける場合は、必ずその間に底板を入れてください。また、引き出しの中にはエアーゾルや可燃性の液体、または簡単に燃えやすいものはしまわないでください。包丁入れなどを引き出しに入れる場合は、耐熱の部材でできたものをご使用ください。


ペットなどが本機に乗ると、スイッチに触れて、調理ゾーンのスイッチが入ることがあります。ペットは絶対に本機に近づけないようにしてください。


通電中はお子様を近づけないでください。

「安全上のご注意」を守らなかったことによって発生した損傷や故障は、保証対象外となります。

梱包材の廃棄処分

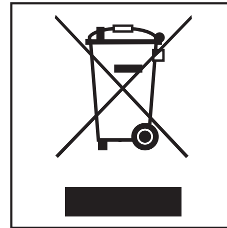
輸送時の保護用の詰物は、廃棄する際に環境への影響が少ない材質が使用されており、リサイクルすることができます。

密閉フィルムやポリスチレンなどの梱包材やビニールシートは、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。

梱包材は、できるだけ早急に廃棄するか、リサイクルしてください。

使用済み器具の廃棄処分

電気および電子機器の中には、取り扱いや廃棄方法を誤ると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れのある物質が含まれていることがあります。ただし、このような物質は機器が正常に機能するために不可欠な物質です。
したがって、不要になった機器は家庭ゴミとしては出さないでください。



不要になった電化製品や電子機器は、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼してください。処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

使用済みの器具を処分する前には、スイッチを切り、電源から外してください。プラグは切り離して、使えないようにしてください。さらに電源コードの本体側の根元を切断して、誤って使用することができないようにしてください。この作業は必ず有資格者が行ってください。
これらの安全上の注意に従わなかった場合の損害については、当社では責任を負いません。

初めてお使いになる前に

一般的な注意事項

本機を初めて電源に接続したときや、停電の後は、奥側調理ゾーンの表示部にダッシュ(–)が、手前側調理ゾーンの表示部に1が数秒間表示されます。この表示が消えた時点で本機を使用できます。

本機は誘導加熱原理を利用して加熱します。すなわち、加熱を行うには、底に磁性体が施されているなべで調理ゾーンを覆う必要があります(P.17「使用に適したなべ」の項を参照)。

本機の電源を入れると、ブーンという音やカチカチという音がかすかに聞こえる場合があります。これは誘導加熱では正常な現象です。

「修理についてのご相談窓口」の項を参照し、付属の銘板シールを指定の場所に貼付してください。

初めてお使いのときのクリーニングと加熱

本機を初めてご使用になる前に、湿った布だけで拭き、柔らかい布でふき取ってください。

セラミック表面には落ちにくくなる青い光沢が残るので、食器洗い用の洗剤は使わないでください。金属部品には保護被膜があり、最初に加熱したときに多少臭う場合があります。しばらくすると臭いや蒸気などは発散して、接続不良などはなくなります。

金属部品には保護被膜が施されているため、最初に加熱したときに多少臭う場合があります。しばらくすると臭いや煙はなくなります。
この臭いは、本機の接続障害などを示すものではありません。

誘導加熱原理

各調理ゾーンの下には誘導コイルがあります。調理ゾーンの電源を入れると、このコイルによって磁界が発生し、なべの底が加熱されます。調理ゾーン自体は、なべから伝わる熱によって間接的に熱くなります。
誘導加熱調理ゾーンは、磁性体の底を持つなべが置かれた場合のみ加熱されます（「なべ」を参照）。

誘導加熱では、なべの大きさが認識されます。つまりなべの底で覆われた部分のみが加熱されます。

次のような場合には、調理ゾーンは**加熱されません**。

- 調理ゾーンに何も乗せないでスイッチを入れた場合や、なべが不適切だった場合。
- なべ底の直径が小さすぎる場合。
- 調理ゾーンからなべを下ろした場合。

この場合、調理ゾーンの表示部で u̲ 記号が点滅を始め、*0* または前回選択した火力設定と交互に表示されます。

使用に適したなべを調理ゾーンに置くと、u̲ は3分で消え、通常どおり使用を続けることができます。

なべを置かなかったり、使用に適さないなべを調理ゾーンに置くと、3 分で自動的にスイッチが切れます。

誘導加熱プロセスは磁性体の金属に反応するため、本機の上に物を載せないでください。

ノイズ

IH クッカーを使っていると、なべの材質と構造によってはなべに次のようなノイズが発生することがあります。

- 火力を高くすると、ブーンとうなるような音を出すことがあります。火力を低くすると、この音は小さくなるか、止みます。
- なべの底が異なる材質の層でできている場合（サンドイッチ構造）、パシッという音がする場合があります。
- 連結ゾーン（P.21「ブースター機能」を参照）を最大火力で同時に使用したり、使用しているなべ底が何層もの異なる材質でできている場合、ヒューッと笛のような音が出ることがあります。
- 火力レベルが低い場合、電源スイッチからカチッという音が聞こえる場合があります。
- 本機には電子部品の耐用年数を延ばすため冷却ファンが搭載されています。IH クッカーを長時間最大火力で使用すると、冷却ファンが作動して、ウィーンと言う音を立てます。
- IH クッカーのスイッチが切れた後も、冷却ファンは運転を続けることがあります。

なべ

使用に適したなべ

誘導加熱調理ゾーンは、磁性体の底を持つなべで覆われた場合のみ加熱します。

次のなべが使用に適しています。

– 底が磁性体でできているステンレス製のなべ

– ほうろう加工のスチール製のなべ

– 鋳鉄製のなべ

次のなべは使用に適していません。

– 底が磁性体でできていないステンレス製のなべ

– アルミ製または銅製のなべ

– ガラス、陶磁器、陶器でできたポットやなべ

ポットやなべが IH クッカーでの使用に適しているかどうかは、以下の方法で調べることができます。

■ なべに水を入れ、調理ゾーンの上に置きます。

■ 調理ゾーンの電源を入れ、高い火力レベルを選択します。

なべが適していない場合は、数秒後に調理ゾーン表示部の選択した火力設定が消え、ꞟ 記号が表示されます。

なべ底の特性により、食品が均一に加熱されるか否かが左右されます。

メーカーによって明記されている場合を除き、底の薄いなべを使ったり、なべを空焚きしないでください。なべが損傷する恐れがあります。本機の損傷につながる場合もあります。

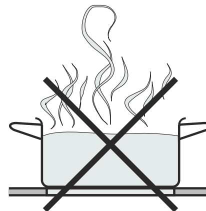
なべの大きさ

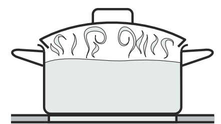
なべの直径は、使用する調理ゾーンの内側のマークと同じか、それ以上の大きさでなければなりません。なべの直径が小さすぎると、誘導加熱は起こりません。調理ゾーンの表示部に ꞟ が表示されます。

メーカーによる最大径の表示は、ポットやなべの縁の直径を示すことが多いため、注意してください。なべの底の直径（通常は縁よりも小さい）の方が重要です。

節電のためのヒント

なべにフタをすると、熱の損失を防ぐことができます。


フタをしない場合


フタをした場合

使い方

センサースイッチの機能

本機には電子センサースイッチが搭載されています。スイッチは指で触れると反応します。
調理ゾーンの操作には、該当するスイッチを使用します。センサースイッチに指で触れると、音が鳴り、スイッチの反応を知らせます。

一度に触れることができるセンサースイッチは、1つだけです（調理ゾーンのスイッチを切る場合を除く）。スイッチ部は常に清潔に保ってください。スイッチの上に物を置かないでください。センサーが反応しなかったり、物や汚れにセンサーが反応して機能が作動したり、自動的に電源が切れる場合があります（P.24「切り忘れ防止」の項を参照）。
センサースイッチの上に熱くなったなべを置かないでください。電子部品が損傷する恐れがあります。

本体の電源を入れる

各ゾーンを使えるようにするには、まず本体の電源を入れる必要があります。

本体の電源を入れるには

■ ON/OFF スイッチ ⓘ に触れます。

タッチすると電源が入り、各ゾーンの表示は 0 となります。そのまま何もしないと安全のために数秒後に自動的にOFFとなり、0 は消えます。

調理ゾーンの電源を入れるには

■ 該当する調理ゾーンのセンサースイッチに一度触れます。

調理ゾーンの表示部で 0 が点滅します。

■ 0 が点滅している間に、－ / ＋ センサースイッチを押して火力を 1～9 の間で調節します。

自動加熱で調理するには、最初に－センサースイッチを押します。「自動加熱」の項を参照してください。自動加熱なしで調理するには、最初に＋センサースイッチに触れます。

選択した火力レベルが表示部で最初に数秒点滅した後、点灯します。

既に設定した火力レベルを変更するには、該当ゾーンのセンサースイッチに軽く一度触れます。その後、－ / ＋ センサースイッチで火力を調節します。

設定

調理プロセス	設定 *
バターを溶かす ゼラチンを溶かす	1 ～ 2
少量の食品や液体を温める こびりつきやすい食品を保温する 米を炊く	3
液体または半固体の食品を温める オランデーズソースなどのソースにとろみをつける ライスプディングを作る オムレツや半熟の目玉焼きを作る 果物を蒸す	4
冷凍食品を解凍する 野菜や魚を蒸す 豆などを調理する	5
大量の食品を長時間煮込む	6
肉（脂分を熱しすぎないで）、魚、野菜、目玉焼きなどを油で軽く調理する	7
パンケーキなどを焼く	8
大量の水を沸かす 沸騰させる	9

* 上記の設定および数値は約 4 人前の目安と考えてください。なべが深い、量が多い、フタをしないなどの場合は、高めに設定する必要があります。また、少量では低めに調節してください。

自動加熱

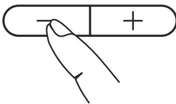
自動加熱がオンになると調理ゾーンは自動的に最も強火の調節でスイッチが入り（加熱し）、前回に調節した煮込みの火力調節に切り換わります。「加熱」時間は煮込みの火力調節によります（表を参照）。

自動加熱中になべを調理ゾーンからはずすと、自動加熱は中断します。3 分以内になべをゾーンに戻すと、加熱が再開します。

継続調理レベル	加熱時間（分：秒の概算値）
1	0：15
2	0：15
3	0：25
4	0：50
5	2：00
6	5：50
7	2：50
8	2：50
9	–

自動加熱をオンにするには

■ 調理ゾーンの表示が 0 で点滅しているとき、所定の煮込み火力調節、たとえば 6 と表示されるまで – センサースイッチにタッチします。



加熱時間の間はドット（.）が火力調節右横に点灯して、加熱が完了すると消灯します。

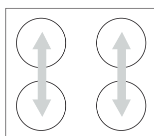
加熱中に[+]センサースイッチを押すと、継続調理レベルを高くすることができます。加熱時間は、選択したレベルに応じて長くなります。

ブースター

調理ゾーンにはすべてブースターという火力レベルを上げる機能が備わっています。
ブースターをオンにすると、調理ゾーンは火力レベル 9 よりも強い火力で10分間加熱します。このブースター機能は、パスタをゆでるときなど大量の水を短時間で沸かすためのものです。2 つのブースターを同時に操作できます。

ブースターがオンになっている間になべを調理ゾーンからはずすと、ブースターが中断します。3分以内になべをゾーンに戻すと、加熱が再開します。

ブースターの火力をさらに上げるには、もう一方の調理ゾーンの火力を転用する必要があります。このため、2 つの調理ゾーンが以下のように連結しています。



ブースターをオンにすると、次の反応が起きます。

- ブースター機能が、連結した調理ゾーンの自動加熱機能よりも自動的に優先されます。
- 連結したゾーンの火力が弱まります。

ブースター機能を動作させる

■ 該当する調理ゾーンのセンサースイッチに触れます。

■ ブースターセンサースイッチBに触れます。

調理ゾーンの表示パネルで P が点滅し始め、ブースターの表示ランプが点灯します。

数秒後、P が点灯し、表示ランプが消えます。

10分後、ゾーンは自動的に通常の火力レベル 9 に戻ります。

ブースター機能を解除する

■ 該当する調理ゾーンのセンサースイッチに触れます。

■ 該当する調理ゾーンのセンサースイッチ B または[−]センサースイッチに触れます。

ブースターをオンにする**前に**火力レベルを選択すると、調理ゾーンの火力は、ブースター使用が終わった、または取り消されたときにこのレベルに戻ります。

使い方

電源の切り方と余熱表示

調理ゾーンのスイッチを切るには

■ 該当する調理ゾーンのセンサースイッチに二度触れます。





調理ゾーンの表示部に 0 が数秒間点灯します。まだ調理ゾーンが熱いのであれば、3 本のラインの余熱表示が点灯します。

本体の電源を切るには

■ ON/OFFセンサースイッチ ① に触れます。

各調理ゾーンの電源が切られます。まだ熱い調理ゾーンの表示部には余熱表示が点灯します。

余熱表示の 3 本のラインは、調理ゾーンが冷めるにつれて、1 本ずつ消灯します。最後の水平ラインは、調理ゾーンが触れても安全になって初めて消灯します。





調理ゾーンの電源を切ってある場合でも、ゾーンになべなどが置かれている場合、余熱表示ランプが反応します。余熱表示ランプが点灯している間は、調理ゾーンに触れたり、熱に弱い物を置かないでください。やけどや発火の恐れがあります。

チャイルドロック

本機にはチャイルドロックを備えて、本体や調理ゾーンの電源を入れたり、調節を変えることができないようにしてあります。

チャイルドロックは本体の電源が入っていなくても使用中であっても、有効にすることができます。

チャイルドロックがオンであれば、**本体の電源が入っていない場合には、**電源を入れることができません。

チャイルドロックがオンであれば、**使用中の場合には次のことに注意してください。**

– 調理ゾーンの設定は変更できません。

– 調理ゾーンや本体の電源を切ることはできますが、一度電源を切ると再度、本体の電源を入れることはできません。

チャイルドロックをオンにするには

■ チャイルドロックをオンにするには、アラーム音がするまで[–][+]センサースイッチを**同時に**押します。

チャイルドロックがオンになっている状態でセンサーに触れると、キーパッド音が通常より長い間鳴ります。

チャイルドロックをオフにするには

■ チャイルドロックをオフにするには、アラーム音がするまで[–][+]センサースイッチを**同時に**押します。

チャイルドロックは停電でオフになることがありますので注意してください。

安全のための機能

切り忘れ防止

超過調理時間での切り忘れ防止

本機には万が一切り忘れた場合の安全スイッチが搭載されています。

調理ゾーンのいずれかが通常の加熱時間（下表参照）より長く加熱され、その間センサースイッチに一切触れないでいると、自動的に本体の電源が切れて対応する余熱表示ランプが点灯します。

複数の調理ゾーンのスイッチがオンになっている場合は、最も高い火力に設定されている調理ゾーンを元に最大運転時間が決定されます。（最大火力設定 = 最小運転時間）

火力設定	最大運転時間（時間）
1	10
2	10
3	5
4	4
5	3
6	3
7	2
8	2
9	1

■ 再び調理ゾーンを使用する場合は、通常どおりON/OFF センサー ① に触れて電源を入れ直してください。

センサースイッチの上に煮こぼれした場合の電源切断

指先が触れたり、煮こぼれ、オーブンミトン、ふきんなどによってセンサースイッチが 10 秒以上覆われると、自動的に本体の電源が切れます。まだ熱い調理ゾーンの表示部には余熱表示が点灯します。

■ 操作部をきれいにするか、物を取り除いてください。

■ ON/OFF センサースイッチ ① に触れて本体の電源を入れ直してください。これで調理ゾーンを再び使用することができます。

過熱防止装置

過熱防止装置は次のような場合に作動します。

– なべの熱伝導率が悪い場合。

– なべを空だきした場合。

– 強い火力設定で油などが加熱されている場合。

– 本体の下部の換気が十分に行われていない場合。

過熱防止装置は、該当する調理ゾーンで次のように作動します。

– オンになっているブースター機能は取り消されます。

– 選択されている火力が弱まります。

– 誘導コイルが過熱状態になると、過熱状態になっている調理ゾーンの電源がオフになります。

安全なレベルまで温度が下がると、調理ゾーンは再び使用できるようになります。

– 電気系統の冷却装置が過熱状態になると、すべての調理ゾーンの電源が自動的にオフになります。

冷却装置の温度が安全なレベルまで下がると、すべての調理ゾーンは再び使用できるようになります。

過熱防止装置によって再び中断されないようにするには、次の点に注意してください。

– 適切に熱を伝導するポットやなべを使用してください。

– 油は中レベルの火力でのみ加熱してください。

過熱原因を取り除いた後も過熱防止装置が作動する場合は、「ご相談窓口」までお問い合わせください。

掃除とお手入れ

本機を掃除する時は、スチームクリーナーを使用しないでください。 蒸気が電気部品に入り、ショートの原因になる恐れがあります。高圧蒸気で表面や部品を損傷することがあります。このような損傷は、保証対象外となり、製造者責任は負いかねます。

セラミック表面と周辺フレームとの間や、フレームと天板との間のシールを破損するような先の尖ったものは使用しないでください。

**砂粒、酸化ナトリウム、アルカリ、酸、塩素系漂白剤を含む洗剤、オーブン用洗剤、食器洗浄機用洗剤、スチールウール、研磨剤入り洗剤、かたいブラシ、研磨パッドや布などは、絶対に使わないでください。
また、研磨剤入り洗剤を使ったスポンジを使用すると、表面が傷つく場合があるため、使用しないでください。**

食器用洗剤でセラミック表面を洗浄すると、落ちにくい青い光沢が残る場合があるため、食器用洗剤は使わないでください。

セラミックプレート表面は定期的に、できれば使用するたびにクリーニングしてください。
本体が冷めてからクリーニングしてください。

こぼしたものなどが燃えるのを防ぐために、汚れはできるだけ早く取り除き、なべの底はきれいに乾いた状態で油などが残っていないようにしてください。

たいていの汚れは、湿った布でふき取ることができます。しつこい汚れは、傷のつかないスクレーパでこすり落としてください。

クリーニング後は、ミネラル分の蓄積を防ぐため、柔らかい布で水気を完全にふき取ってください。

水のふきこぼれなどによるセラミック表面のミネラル分の凝固や、なべの底の金属のしみを落とすには、セラミック面専用のクリーナーをお使いください。クリーナーのパッケージの説明書をよく読み、柔らかい布やキッチンペーパーにクリーナーをつけてご使用ください。

最後に、湿らせた布でセラミック表面をふき取り、柔らかい清潔な布でふいて乾かします。クリーナーの跡を確実に落してください。クリーナーの跡が残っていると、加熱した場合に本体の表面が損傷することがあります。

表面への水のしみや汚れのこびりつきを防止する保護剤が含まれている洗剤もあります。




使用中の熱い調理ゾーンに**砂糖**がこぼれたり、**プラスチックやアルミ箔**が落ちた場合は、まず本機のスイッチを切ってください。それから**冷めないうちに**残っている砂糖やプラスチック、アルミを傷のつかないスクレーパで丹念にこすり落としてください。やけどしないように注意してください。クッカーが十分に冷めてから、適切なセラミック面専用のクリーナーでクリーニングしてください。

アルミフレーム（銘板シールを参照）を持つ本体は、ひっかき傷がつきやすく、アルカリや酸によっても傷つきやすくなっています。
アルミフレームのクリーニングには十分注意してください。アルミ表面には、ステンレス用のクリーナーやスケール除去剤は使用しないでください。ふきこぼれによる汚れなどは、本機使用後すぐにふき取ってください。ふきこぼれの汚れが長時間残っていると、アルミの表面に損傷を与える可能性があります。セラミック面専用のクリーナーでていねいにクリーニングすれば、フレームの光沢を保つことができます。

プログラミング

本体の標準設定を変更できます。

■ 本機の電源を切り、調理ゾーンの表示部に現在の設定を示す数字と共に *P*（プログラム）および *S*（ステータス）が表示されるまで、本体の ON/OFF センサー ① とブースターセンサー B **を同時に**押します（表を参照）。

プログラムを設定する

■ **左前方**の調理ゾーンのセンサースイッチに触れます。

該当するプログラム番号が点滅し始めます。

■ [+]または[−]センサースイッチを押して希望のプログラムを選択します。

ステータスを設定する

■ **右前方**の調理ゾーンのセンサースイッチに触れます。

該当するステータス番号が点滅し始めます。

■ [+]または[−]センサースイッチを押して希望のステータスを選択します。

新しい設定を**メモリ**に保存するには、表示が消えるまでセンサースイッチ B に触れます。
設定をメモリに保存**したくない**場合は、表示が消えるまで、本体 ON/OFF センサースイッチを押します。

プログラム	ステータス＊	設定
P 0 デモモードおよび工場出荷時のデフォルト設定	P 0	デモモード ON
	S 1	デモモード OFF
	S 9	工場出荷時のデフォルト設定に復旧
P 1 センサーに触れると、キーパッドから音が鳴る	S 0	OFF
	S 1	ON

＊ 工場出荷時のデフォルト設定は太字で示されています。

> 電気器具の修理は、有資格者が、地方自治体および国の定める安全基準に従って行う必要があります。無資格者による修理は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

ただし、簡単な問題の中には、次の方法で処理できるものもあります。

こんなとき、どうしたらいい?

... 本体や調理ゾーンの電源が入らない。

以下のことを確認してください。

- 使用に適したなべを使っていますか?
- チャイルドロックがオンになっていませんか?
  必要な場合はオフにしてください
  (P.23「チャイルドロック」の項を参照)。
- ブレーカ(ヒューズ)が落ちていませんか?

上記のいずれにも該当しない場合は、本機の電源を約1分間、遮断します。本機を電源から完全に絶縁するには、次を行います。

- 断路器で電源を切ります。
- コンセントから電源プラグを抜いて電源を切ります。
- ブレーカ(ヒューズ)を切ります。

再び電源プラグを差込み、本体の電源を入れます。それでも加熱しないようであれば、電気の有資格者か、またはミーレの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

... 本体の電源を入れて、火力調節ができるが、調理ゾーンが加熱しない。

間違って、デモモードを設定していないか確認してください(P.28「プログラミング」の項を参照)。

... 調理ゾーンの表示部に u̲ が表示されている。

以下のことを確認してください。

- なべが載っていないのに、誤ってゾーンのスイッチが入っていませんか?
- 誘導加熱ゾーンでの使用に適した、十分な大きさのなべを使用していますか?
  (P.17「使用に適したなべ」を参照)。

... 調理ゾーンの表示部に F が表示されている。

調理ゾーンの温度センサーが壊れています。

修理が完了するまで、この調理ゾーンは使用しないでください。

お近くの「ご相談窓口」にご連絡ください(所在地は裏表紙をご覧ください)。

... 調理ゾーンまたは IH クッカー全体のスイッチが自動的に切れる。

切り忘れ防止機能または過熱防止装置が作動しています(P.24「切り忘れ防止」および P.25「過熱防止装置」を参照)。

こんなとき、どうしたらいい?

... 次のような状況が起こる。

– ブースター機能が時間よりも早く自動的に切れる。

– 選択されている火力設定が弱まります。

過熱防止装置が作動しています（P.25「過熱防止装置」の項を参照）。

... 自動加熱機能がオンになると、なべの中身がなかなか加熱されなかったり、全く加熱されない。

次の原因が考えられます。

– なべの中身が多すぎる。

– なべの熱伝導が悪い。

次回に強火の火加減にするか、強火で再開して後で弱火に火加減します。

... IH クッカーのスイッチが切れた後も、冷却ファンが運転を続ける。

これは故障ではありません。ファンは本機が完全に冷めるまで運転を続けます。その後、自動的にスイッチが切れます。

電源接続

電気系統の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準にしたがって適任な有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

設置または修理作業が完了するまで、本機の電源を切ってあることを確認してください。

本機は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。帯電部は露出させないでください。

本製品を、延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。

電圧、定格消費電力、アンペア数については、銘板に記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本機の接続は、必ず電気設備基準に合った断路器を経由して行ってください。
また、開閉スイッチは容易に点検できる位置に設けることが必要です。

＜重要＞

2 極・接地極付 30A 専用コンセントコードにて納品されます。

コンセント形状を確認の上、確実に接続してください。

＜警告＞

本機は、必ず接地してください。

＜重要＞

本機の電気的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地系との連続性が完備して初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事士がテストすることはとても重要なことです。感電などの不十分な接地系の結果に対する製造者責任は負いかねます。

直接的あるいは間接的な不正な設置や接続による何れの被害や損害の製造者責任も負いかねます。

仕様

定格電圧:	単相 200 V		
定格周波数:	50/60 Hz		
定格消費電力:	最大計	6.00 kw	
	奥左	1.50 kw	(ブースター作動時 2.10 kw)
	奥右	1.90 kw	(〃 2.70 kw)
	手前左	1.50 kw	(〃 2.10 kw)
	手前右	1.10 kw	(〃 1.50 kw)
適用ヒューズ:	30 A		
外形寸法(mm):	W574 x H48 x D504		
質 量:	12 kg		

修理についての相談窓口

お客様では解決できない問題が生じた場合は、下記までご連絡ください。

– ミーレの販売店
または
– ミーレの「ご相談窓口」(本書の裏表紙に記載)。

「ご相談窓口」にお問い合わせになる場合は、ご使用の器具のモデル名とシリアル番号をお知らせください。モデル名およびシリアル番号は、銘板シールに記載されています。

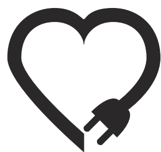
サービス向上のため、お客様の電話はモニター録音させていただくことがありますのでご了承ください。

銘板シール

本製品に同梱の銘板シールを貼り付ける欄モデル番号が本書表紙の番号と同じであることを確認してください。



メ モ



愛情点検

長年ご使用のIHクッカーの点検を！

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
●運転中に異常な音や振動がする
●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
●こげくさい臭いがする
●電気クッカーにさわるとビリビリ電気を感じる
●水漏れがする
●その他の異常や故障がある



●使用を中止してください●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ミーレ・ジャパン株式会社

本社： 〒150-0044東京都渋谷区円山町3-6　E・スペースタワー11F

コールセンター：通話料無料 0120-310-229／03-5784-0039／03-5784-0042

0506

M.-Nr. 06 662 130 / 01
ja-JP